



いかにずちの子

カトリック町田教会
町田市 中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>



イエスに従い、すでにその目的地におられるおとめマリアが私たちの希望を支えてくださいますように。(教皇フランシスコの5月のアレルヤの祈りの言葉)

「母の日」

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

母の日の起源は諸説あるようですが、最も有力なのはアメリカでアンナ・ジャービスという女性が亡き母を追悼するために、5月10日に赤いカーネーションを教会で配ったという説だそうです。
では、なぜ母の追悼にカーネーションを贈ったのか、これには「花言葉」が関係していると考えられるようです。カーネーションには赤は「母への愛」ピンクは「感謝」紫

は「誇り」と、色ごとに花言葉があるからなのでしょう。

2024年の母の日は5月12日(日)です(毎年5月第2日曜日)。この「母の日」ということで思い出すわけですが、母はいま思うに熱心な信仰者でした。ただ、彼女はキリスト信者ではなく、仏教徒でした。しかし、いま考えてみれば、やはり母はわたしたち子供を信仰の世界に導いてくれた信仰者でした。

母は熱心な信仰者でしたが、熱心といっても病弱のために何か特別な宗教的活動をしていた訳でもなく、またわたしたち子供に何か宗教的な話しや説教をすることはありませんでした。ただ、彼女は1日たりとも怠らなかつた一日のはじめとおわりに黙々と一人祈る姿は印象的でした。また何よりも信仰者の価値観で人や物に対して行動する姿は見事でした。

2024年度新任の挨拶

運営委員会議長 荻津 兆秀

影響を与えたのかもしれない。そして、いま考えてみるとイエズス・キリストに導いてくれたのは熱心な仏教徒の祖父母に育てられた信仰の世界の母の「お陰」なのだと思います。
皆さんをイエズス・キリストに導いてくれたのは両親あるいは祖父母、親戚、友人：でしょうか? 「母の日」にあたり、わたしたちをイエズス・キリストのもとに導いてくれた信仰の世界の母に、共々に感謝をささげたいものだと思います。

現在、施設管理委員会に在籍しております荻津です。

今年度の運営委員会では、議長と教会業務を担当することになりました。

教会業務に関しては、昨年度総会資料の不手際で皆様にご迷惑をおかけしましたことを再度お詫び申し上げます。本年度は昨年度の不手際を踏まえて皆様にご心配かけないように致していきます。
やっと皆様のご協力のおかげで運営委員会のメンバーがそろうことができました。本当にありがとうございます。今まで関わったことのない立場のために一から確認してい

くことが多くて戸惑っております。昨年度は運営委員として教会業務全般に関わることで教会内の仕組み等覚えが多々あり、日々勉強の姿勢で行ってきましたが、どうしても至らないところ等が出てきて皆様に教えを受け成長していきたいと思っております。
本年度は神学生今井さんを迎えて、新たにスタートする事になりました。また教会としてパーティーの飲食を再開し、信者の皆様にもお手伝いして頂き無事終えることができました。今後も飲食ができるパーティーをすることによって、皆様にご参加しやすく

なっていくと思っております。
本年度の運営委員会のメンバーは新しく参加される方が副議長の福富英里子さん、書記の成田大樹さん、地域ブロック担当の飯嶋葉子さんの三名と、新任の生涯養成委員会の委員長千種ジェシカさんが参加されています。皆様にぜひ顔を覚えてもらえるようにしていきたいと思っております。
今年には私にとって変化の年になってきています。社員が辞めたので、私の負担が三倍増になった感じですが、できるだけ迷惑をかけずに頑張っていきたいと思えます。
過去に大病をしましたが、体調に気をつけて一年乗り切ろうと思っております。
本年度一年間宜しくお願ひ致します。

町田教会の皆様へ

広島教区司祭 星野 倫淳

町田教会の皆様。主のご復活おめでとうございます。私は去る3月20日に司祭に叙階されました広島教区の星野倫淳神父と申します。皆様のうちには叙階式にあたって私のために祈りくださった方もいらつしやつたと思います。Youtubeの配信をご覧になられた方もいらつしやつたでしょう。本当にありがとうございます。また皆様の中



叙階式を終えて先輩司祭がたから祝福される星野新司祭

何人かの方が、遠いにもかかわらず実際に広島までいらっしやってくれました。あらためて感謝いたします。私が司祭叙階という大きなお恵みをいただけましたのも、ひとえに皆様をはじめ、多くの方々の祈りと支えのおかげです。私はいただいたこの司祭職を神さまのため、皆様のため、すべての人々のために果たしていきたいと思っています。そしてそれこそが私の喜びであり、私が主からいただける報いです。

私は神学生時代、コロナ禍が始まる前の2019年とコロナ禍が始まってしまった2020年に、皆様のところに司牧実習で行かせていただいたおりました。皆様の教会の家族的で温かい雰囲気なのか、色々とは学ばせていただきたい

たことをおぼえています。そしてコロナ禍にあつては皆様と苦しみを共にいたしました。皆様とゆつくりお話しすることも、あるいは顔を合わせることもささげしい思いをいたしました。その後、皆様のところを旅立ってから、2021年と2022年は吉祥寺教会、2023年はさいたま教区の川越教会で司牧実習をしました。その間でも、私は町田教会の皆様のことをときどき親しく思い出しました。コロナ禍が明けて、ふたたび毎春秋に行われるようになった神学院のザビエル祭では、皆様のうちの幾人かの方が神学院を訪れてくださいました。その方々との再会は、私にとつてとてもうれしいことでした。私が皆様のところにいたときにお世話になった林正人神父様が神学院の先生になられたときには不思議な縁を感じました。林神父様から皆様のことを聞いたとき、主の御心なら、かならずもう一度皆様のところにお伺いしようという思いを新たにいたしました。そしてそれは、もうすぐ実現しそうです。皆様に再会できるのを楽しみにしています。

★星野新司祭による初ミサは6月8日(土)・9日(日)におこなわれます。



本年度の運営委員のみなさん

愛されている者として

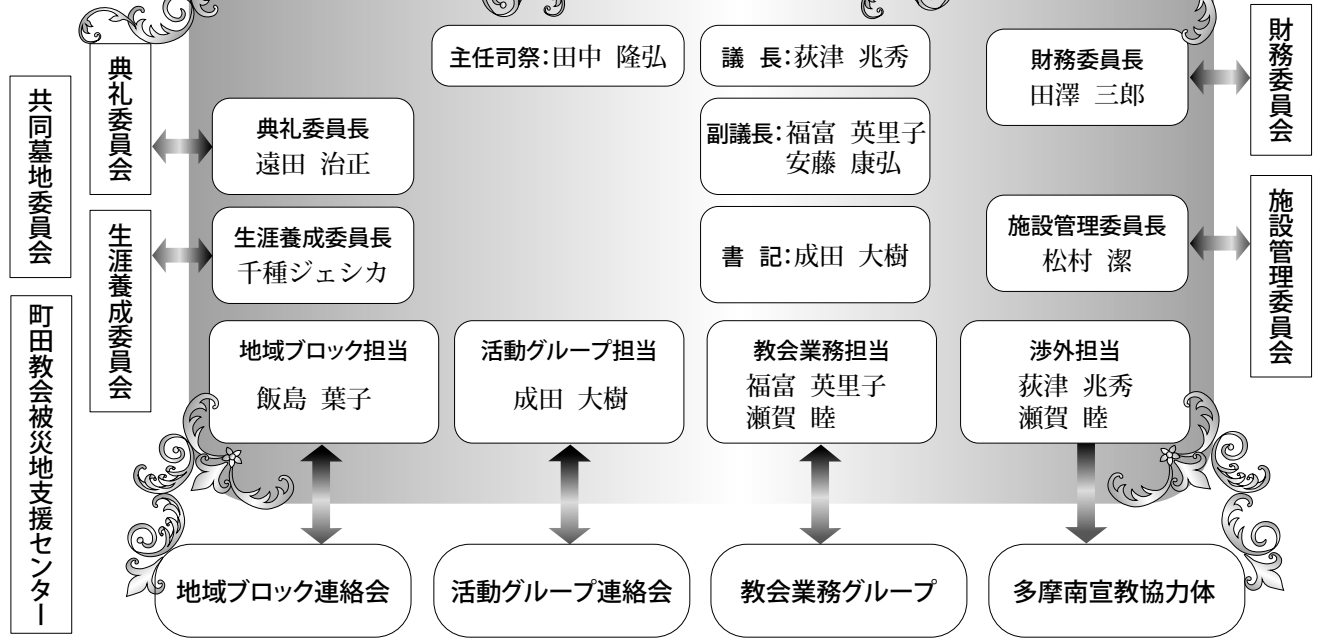
東京教区神学科一年 アンセルムス今井 克明



今年の四月から町田教会で司牧実習をさせていただいております、神学科一年のアンセルムス今井克明です。東京教区、高輪教会出身です。現在、練馬にある日本カトリック神学院にて、京都教区と長崎教区の二人の同級生を含む日本全国から集った二十人ほ

(5頁に続く)

2024年度の運営委員会



2024年 カトリック町田教会 実行体制 (I)

典礼委員会 (典礼委員長兼運営委員：遠田 治正) 財務委員会 (財務委員長兼運営委員：田澤 三郎)

奉仕内容		連絡担当
書紀		原 祥代
聖歌奉仕	歌唱	遠田 治正
	オルガン	皇 恭子
朗読・奉納手配	第二ミサ	西野 武・吉田 順・小溝 茂雄
	第一ミサ	伊藤 真理
	土曜ミサ	遠田 治正
香 部 屋		伊藤 真理
典 礼 の 花		高尾 敬子
聖体奉仕・先唱		遠田 治正
侍者 (小中高生)		島田 和人
文書作成・典礼研修		遠田 治正
葬儀・結婚式	葬儀	遠田 治正
	結婚式	高尾 敬子
手 話 通 訳		(未 定)

係	業務内容	担 当
財源の確保	財政の管理	田澤 三郎
収入管理	ゆうちょ銀行	林 茂
	銀 行	田中 神父・田澤 三郎
	現 金	定光 孝子
支出管理	現金出納 (支払)	奥村 耕平
	ゆうちょ銀行振込	田澤 三郎
	銀行振込	名倉 理恵
データ管理	会計・決算データ管理作成	田澤 三郎
資産管理	資産・備品管理	奥村 耕平
監査委員	秦 邦昭・小溝 茂雄	

施設管理委員会 (施設管理委員長 兼 運営委員：松村 潔)

係	業務内容	責任者	委 員
施設管理	・中長期大規模改修および修繕 ・小規模改修および修繕・定期修繕 ・教会建設～建設後の教会施設・植栽の維持管理およびメンテナンス	松村 潔	田中 神父・池田 克久・大木 雅信 藤波 勲・荻津 兆秀・西野 武

生涯養成委員会 (生涯養成委員長 兼 運営委員：千種ジェシカ)

係	業務内容	責任者	委 員
生涯養成	信徒の育成・信仰の理解 霊性を養う	千種ジェシカ	安 京和・泉エピリン・小鷹エルウィナ 桜田ピーチ・高田 恵一・林 佳香 廣田 和之・藤波 由香・藤野 真人 水野 貴久子・山口ローレン
教会学校	土曜学校	池田 幸織・島田 和人 嶋田 弘志・福富 英里子 森山 隼介・吉田 光子	保護者をはじめとする皆さんで構成
	日曜学校	《英 語》第2日曜日	田中ジェニファー・田中エリカ・ミデマ ベンジャミン
		《日本語》第4日曜日	原 祥代・小杉 純子・坪山 明美・若野 綾子
	中高生会	島田 和人・大学生リーダー	
たまごの会 (未就学児のお話会)	小林 由里子	佐藤 玲子・皇 恭子・福富 英里子	

共同墓地委員会 (共同墓地委員長：小溝 茂雄)

委 員	安藤 康弘・鈴木 節子
-----	-------------

地域ブロック連絡会

(議長：藤浪 由香・副議長：小山 夏比古・成田 大樹/運営委員：飯島 葉子)

ブロック	連絡員	ブロック	連絡員
第1	小峰ロザリー・高田 恵一	第6-1	森田 雅子・後沢 文子
第2	横山 眞弓・小山 加代子	第6-2	樋口 真由美・森 宮子
第3	小山 夏比古・成田 大樹	第7	藤波 由香・吉田 治子
第4	古藪 光子・熊坂 萌子	第8	小吹 順子・木原 桂子
第5	金井 裕美子・神山 明子	第9	武永 恭子・藤沢 雪子

活動グループ連絡会

世話人：林 佳香・水野 貴久子/運営委員：成田 大樹

2024年 カトリック町田教会 実行体制（Ⅱ）

教会業務担当（運営委員：荻津 兆秀・瀬賀 睦）

係	連絡担当	構成員
案内	鈴木 亮作	安藤 康弘・宇都宮 幸子・奥村 耕平・神山 明子 定光 善吾・立木 欣吾・田澤 三郎・辻 成己 坪山 明美・原 祥代・藤波 由香・山口 広文
ミサ案内	水野 貴久子	
土曜・日曜日受付 転出入受付	林 佳香	飯島 葉子・小杉 純子・小林 由里子・定光 孝子 鹿内 容子・辻 成己・名倉 理恵・山口 静子
平日受付	水野 貴久子	小杉 純子・秦 ゆう子・林 佳香 廣田 道子・福田 喜美枝・前田 充 横山 真弓・小山 夏比古・淵 敦子
名簿 (教会原簿)	橋村 元雄 田中 神父	富樫 和美
雷の子	中原 毅志	池永 廣美・大久保 豊・池田 克久 阿部 恵慈・嶋田 直人
IT推進	遠田 治正	西野 武・辻 成己・池田 克久・藤波 勲
ウェブサイト	田中 神父 遠田 治正	丸井 千尋・林 佳香
月報		
週報	高尾 敬子	林 佳香・丸井 千尋・笠原 恵
図書	横塚 千枝子	宇治 淳子・石井 節子・三上 昌子・秦 ゆう子
聖品販売	守田 紀美江	小池 裕子・喜多 寿子・樋口 真由美・池永 廣美 小林 洋子・鈴木 節子・秦 ゆう子

各種対外活動（運営委員：荻津 兆秀）

係	業務	業務内容	担当	
渉外	教区関係	教区宣教司牧協議会	(成城教会)	多摩南宣教協力体(成城・町田)の 信徒より選出
		一粒会	廣田 和之	
	宣教協力体 関係	多摩南宣教協力体連絡会	荻津 兆秀 瀬賀 睦	
		施設利用 外部団体	田中 神父	
その他	その他			

町田教会 被災地支援センター（センター長：田中 神父）

業務内容	事務局長	参加メンバー
国内外の災害救済のために必要な援助活動	立木 欣吾	その都度

どの神学生と共同生活をしつつ、祈りと神学の学びを通して自らの召命を見つめつつ歩んでおります。

昨年度までの二年間は秋津教会で野口神父さまや富田神父さまのもと、ミサ奉仕と日曜学校を担当しておりました。コロナ禍とリーダーの交代が重なったこともあり、一から日曜学校を作り上げるといふ貴重な経験をさせていただきました。町田教会は秋津教会と比べて二・五倍の信徒数ということもあり、ミサ奉仕や教会学校リーダーを務めてくださる方も多いので、まずは町田教会の雰囲気につくりに慣れたいかならばと思っております。

さて、私は二十代中盤というところで、多くの方から「そんなに若いのに、どうして神父になろうと思ったの？」とよく尋ねられます。大きな理由は、教会が私にとつて安心して自分らしくいられる場所であったからです。高校生の時、初めて教会を訪れた私は、高輪教会の方々や神父さまに温かく迎え入れられ、多くの方との交わりを通して、自らを正しい者とするのでなく、神様とつながることで愛されること、そして愛されたいという気持ちを得ることができました。それほどまでに大きな神の愛を知った時、「愛

されている者として何をされるのか」という心に湧き上がってくる問いに対して「この喜びを伝えたい」と思ったことが、私が司祭召命について考えるきっかけでした。召命についてすべて書くことはできませんが、「気づいたらここにいる」という不思議な導きを感じています。

東京教区の神学生なので、土・日曜日はもちろん、夏やクリスマス、四旬節から復活の頃などの神学院の閉講期間中にも、町田教会に滞在いたします。まずは二年間、町田にいる神学生として皆さまとの関係を深めたいと思っております。よろしくお願いいたします。

一粒会について

パウロ 廣田 和之

一粒会は神学生の召命と神学生を霊的（祈り）経済的（献金）に支える全国的な組織で、教区毎に独立した一粒会があります。東京大司教区の一粒会は、東京教区に所属する全員が一粒会会員で、会長は菊地功大司教様です。一粒会は、教区神学生だけではなく、修道会や宣教会の神学生も支えています。

町田教会では皆様からお預かりした一粒会献金は、財務委員会から一粒会本部に送金

されています。そのため、一粒会のための献金日というものは現在行っていませんが、個人で一粒会にお志を送金していただくことはできます。

東京教区一粒会の二大行事は、復活祭第4主日にカテドラルで捧げられる「カトリック世界召命祈願の日」ミサ主催と、11月に東京カトリック神学院で行われるザビエル祭のお手伝いです。その他、年数回、「ひと粒の麦」という広報誌が発行されており、最新号は聖堂前ホールに置いてあります。お手にとつてご覧下さい。世界召命祈願の日ミサやザビエル祭は、どなたで

もご参加いただけますので、是非お運び下さい。

また東京教区では、各小教区から1名の担当者、さらに各共同宣教体から1名の一粒会運営委員を選出することになっていきます。昨年度までは町田から選出されましたので、今年度は成城が多摩南宣教協力体選出の一粒会運営委員を担当下さっています。

神学生が司牧実習にみえることの多い町田教会一粒会担当の独自の活動としては、コロナ禍前は、週報等で呼びかけ、皆様のご協力を持ち寄りパーティーを主催し、神学生との親睦の機会を作っていました。

りました。土曜初ミサ後には、新司祭を囲んで有志による食事会も、お任せいただいて参りました。町田教会一粒会担当独自の活動にお手伝いいただける方は、お知らせ下さい。

菊地大司教様は一粒会総会において、司祭・修道者を増やしていくためには祈り・献金と共に各小教区で青少年に對する「声掛けが必要である」とおっしゃられました。

日頃からの祈り・献金・ご協力に感謝申し上げます。に、司祭・修道者への召し出しの芽を育むために、町田教会でも若者への声掛けを宜しくお願い致します。



ワンポイント聖書 温故知新

②

余生風 佐藤 正明

「恐ろしかったからである」

マルコによる福音書はこの言葉で唐突に終わる。今年も典礼B年、マルコによる福音が主軸の年なのでそれを一考しておこう。原典では *ἐφοβήθη* とある。なぜこんな尻切れトンボの終わり方なのだろうか？ 仮説は三つある。① 続きはあったが失われたから。② 完結する予定だったが出来なかったから。③ 意図的にそうしたから。どれも仮説に過ぎないが、最も含蓄に富むのは③ではなからうか。書かなかったからこそ、大事な次の示唆があるからだ。

主ご復活の朝、婦人たちは墓で白衣の若者から、「あの方は復活なさって、ここにはおられない。行って、弟子たちとペトロに告げなさい」と言われたが、逃げ帰って

誰にも何も言わなかった。「恐ろしかったから」だ。だがその後の空白に、「あなた方も彼女たちのように恐れ、黙っているのか？」という暗黙の問いがあると思えばわかる。この福音書が出た西暦65年頃、初代教会の人々はもう主の復活を堅く信じて宣べ伝え、喜びに溢れていた。答えはそれだ。彼らの生きた信仰の中に復活した主はおられた。だから縷々書かなくてもよかったのだろう。

では、私たちはどうだろうか？ ミサでは「主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。再び来られる時まで」とは唱える。しかし、実生活では何かを恐れ、黙しがちではないだろうか。あの朝の婦人たちのように…。

サンティヤゴ巡礼記④

白柳 弘幸

■コンポステラにて

巡礼の目的地であるコンポステラに到着した日は、あいにくの曇り空で、早朝のため大聖堂前に人影はあまり見られませんでしたが。大聖堂でのミサの最後に、ボタフメイロという巨大香炉を聖堂一杯に振る儀式に幸運にも与れま

した。聖堂には世界中から大勢の人々が集まります。ここで、巡礼路で出会った方たちと笑顔で再会もできました。

妻と親しく話したスペイン人の女性巡礼者は、ボタフメイロのミサに与ると「今まで痛かった所が全部治る。辛かったことが飛んでいく」と言ったそうです。大きく揺れる香炉を見つづつ涙を拭う方、祈りを捧げる人、放心状態のように見つめる方が大勢いました。様々な思いで香炉を見つめていたのでしょう。

■フィステーラへ

コンポステラにたどり着いた巡礼者で時間に余裕のある方は、さらに80キロメートルほど先のフィステーラを目指します。大西洋に面した地の果ての街です。コンポステラは京都のような大観光地でしたが、この街も小さな観光地ですが、華やいた雰囲気はありません。

夕暮れ時、アルベルゲのテラスから外を見ると、カモメが飛んでいるのが見えました。日常から切り離された静かな時間がゆつくりと流れているのを感じました。

大勢の巡礼者と出会い、互いの言葉は十分でなくても理解しあい感謝しあい、「Buen Camino！（良い旅を）」と声を掛け合い励ましあった日々を思い出しました。私たちの力だけで歩けたのではないのです。町の小さな御聖堂で無事に歩き終えた感謝の祈りを捧げました。

■巡礼を終えて

歩く、食べる、寝る、ミサに与るといって、テレビや新聞、パソコンもないシンプルな巡礼の時間を妻と共有できたことが何よりの宝になりました。この巡礼の旅は、これからの私



旅は、これからの私

たちの生活のなかでの豊かな思い出になるでしょう。聖体訪問時に唱えていた「巡礼者の祈り」の一部を紹介して、サンティヤゴ巡礼記を終りたいと思います。
「主よ、あなたは私たちの巡礼の歩みを、聖ヤコボのお墓まで導いてくださいました。私たちは彼と同じ信仰をいだいてここまで歩いて来ましたが……聖ヤコボよ、私たちの手をとってキリストのもとへと導いてください」（終）

中高生会練成会
(3月31日～4月1日)



土曜学校卒業お泊り会
(3月9日～10日)



英語の黙想会 (3月17日)



ダリル・デイニヨ神父の指導の下、町田、相模原、山手、末吉町、大和から82名の信者が参加した。

信者動静

2023年12月～
2024年4月

(個人情報のため、削除しています)